

地域再生計画（地方創生整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	京都府	事業実施主体	綾部市	地域再生計画名	一人ひとりの幸せをみんなで紡いで実現できるまち・・・綾部 再生計画
計画期間	令和6年度～令和9年度	評価責任者	綾部市上下水道部長		

①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価		
			基準年度		年度	中間実績		基準年度						
	指標 1	汚水処理人口普及率	86.0%	R4	87.2%	R7	87.8%	88.0%	R9	○	指標 総数		達成 数	地方創生汚水処理施設整備推進交付金の活用により、汚水処理施設整備は効率的な実施ができ、中間目標を達成できた。
	指標 2	由良川・上林川水質維持	BOD 2mg/L以下	R4	BOD 2mg/L以下	R7	BOD 0.6mg/L	BOD 2mg/L以下	R9	○	3		3	由良川・上林川の水質を維持し、中間目標を達成できた。 令和7年版の水質検査結果（京都府）が未発表のため、令和6年版を利用した。
指標 3	定住人口の増加	15世帯 /年間	R4	15世帯 /年間	R7	36世帯 /年間	15世帯 /年間	R9	○	あやべ定住サポート総合窓口での、農村地域等に存在する空家を有効活用した定住誘導により、中間目標を達成できた。				
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
計画			中間年度 (R7)	最終実績 見込み										
特別措置を適用して行う 事業	公共下水道事業（管路施設）		4,199m	1,900m	3,593m	汚水処理人口普及率の向上に寄与したが、近年の資材費や人件費の高騰により、整備延長が減少している。 今後、さらに水環境を向上させ住みよいまちとするため、引き続き整備を進めていきたい。								
	公共下水道事業（終末処理場）		1池増設	0	0	面整備、し尿受入前処理施設の整備計画により、汚水処理量の増加が見込まれることから、水処理施設の増設を進めている。 近年の資材費や人件費の高騰により、事業費の増大が見込まれるが、今後も引き続き整備を進めていきたい。								
	浄化槽（個人設置型）		40基	7基	15基	汚水処理人口普及率の向上に寄与しているが、当初計画に対し、申請数が少なく、設置基数が低迷している。 家屋の新築時や増改築時において設置の意向があるため、引き続き取組を進めていきたい。								
	浄化槽（市町村設置型）		160基	36基	70基	汚水処理人口普及率の向上に寄与しているが、当初計画に対し、申請数が少なく、設置基数が低迷している。 家屋の新築時や増改築時において設置の意向があるため、引き続き取組を進めていきたい。								
その他の事業	排水設備等資金の融資あっせん制度 （事業主体：綾部市下水道課）		排水設備工事時の一時的な費用負担を軽減することを目的に資金融資のあっせんを実施			個人住宅等で、水洗便所に改造する工事費等を一時に負担することが困難な場合、市が指定する金融機関に融資のあっせんを行うことにより、水洗化の普及促進に寄与した。								
	下水道接続補助金制度 （事業主体：綾部市下水道課）		住民税非課税世帯が、既存の専用住宅で排水設備工事を行う際、その工事費の一部を補助			住民税非課税世帯が、既存の専用住宅を下水道に接続するための排水設備工事を行う際、工事費の一部を補助することにより、水洗化の普及促進に寄与した。								
	既設合併処理浄化槽の寄付制度 （事業主体：綾部市下水道課）		一般住宅及び公民館等の公的施設に設置されている合併処理浄化槽について無償で寄付を受け、維持管理を綾部市が実施			維持管理を綾部市が行うことにより、使用者の費用負担軽減や適切な維持管理が実施できた。								
	上林川を守る会事業 （事業主体：上林川を守る会）		上林川の葦刈りや水質調査、会報の発行等を実施			河川を守るための各種取組により、河川景観の保全や美しくする意識の高揚に寄与した。								
	定住の促進（移住立国プロジェクト） （事業主体：綾部市定住・地域政策課）		あやべ定住サポート総合窓口により、農村地域に存在する空家を有効活用した定住誘導を展開			住宅・就農・就職など定住に関する各種相談への対応や、空き家情報や農村都市交流イベントの開催案内、地域情報の提供等により、本市への定住促進に寄与した。								
計画外で独自に実施した 事業														
③評価方法	綾部市上下水道審議会による評価													
④中間評価の公表方法	評価後に綾部市のホームページに掲載													
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画に基づく事業の効率的な実施により、すべての中間目標を達成することができた。 また、その他事業についても継続的に活動できており、汚水処理人口普及率の向上に寄与している。													
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容								
	地域再生計画の見直し（有・無）					公共下水道は面整備の推進と併せて、し尿処理施設との統廃合を進めるため処理場（水処理施設）増設事業を実施しているが、近年の資材費や人件費の高騰により、事業費が増大しており、年度ごとの事業費に制限があるため、事業量が減少している。 水処理施設増設に係る事業費も増加しており、事業期間内に完成させることが困難であることから、事業費の見直しや事業期間の延伸を検討している。 浄化槽については、設置希望者が減少しており、事業量・事業費の減少が顕著であることから、見直しを検討している。								
	令和9年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円					公共下水道の管渠整備、浄化槽の設置については、交付金により計画的に事業を実施したい。								
⑦今後の方針等に対する対応	各指標ごとに最終目標値を達成できるよう事業を進めるが、中間評価の結果、今後の見通しから、地域再生計画（事業量・事業費・期間）の変更を検討している。 公共下水道事業については、より広範囲の市民が早期に公共下水道施設を使用でき、快適で住みよい生活環境となるよう、引き続き、計画区域内での整備を進め、市内全域の活性化を図る。 浄化槽については、設置希望者が減少しているため、引き続き、広報等により住民にPRを行い、計画的に事業を実施する。													